

はな号の

題字 瑞龍寺 起龍軒老大師



第44号

令和元年7月20日

発行:臨済宗妙心寺派

北海道教区

牛 牧

講 五 第



令和元年度花園会推進テーマ

おかげさま

—おかげさまの心—

たよらないのが 仏さま

十牛図 第五講 「牧牛」

札幌市 瑞龍寺 起龍軒老大師

「一日一度の静座は あなたの人格を開拓する」
倍増し あなたの人格を開拓する」

今、世の中に「怒り」がはびこっています。

「いじめ」「ひきこもり」「家庭崩壊」「経済格差」「人種差別」等さまざまな社会状況によって、人々の不安が高じ、怒りの感情が自分を失い、家庭、社会に向って暴力に訴え凶悪な犯罪にまでなっています。その背景の一つには、古来からの人と人との直接のつながりの関係性が破壊されたからです。そのつながりを失い、その間に進化した情報機器というテクノロジーが人の妄想と想像を増長しているからです。不安、怒りはその産物です。それは人が本来持っている清らかな心の水の流れに、まっ黒なスミを流し込んでいくようなものです。

「荒れ狂う「あなたの心」を静め、小さくしていくには、一度静かに坐るか家庭内外の掃除するとか何か単純なことに打ち込んでみることです。怒り、不安は瞬間にやっけてきます。取り返えしがつかぬ前に心を調節してゆく準備が必要です。たとえば、夫婦喧嘩する時は前もってお互い合掌し合ってから始めてはいかがですか。ケンカが解消すること受け合いです。

怒り、不安にとらわれるといつまでも続きます。皆がもっている悪い人格、体質です。怒りを払うにはその怒っている自分に気づき、冷静な自分を発見することです。「牧牛」という心を修養する「仏心に目覚め深く感ずることです。

「ほっかいどくでっかいどく」
上空から北海道の大地を見ながら口ずさむ。ここに足を降ろせることに、やや興奮気味な私。布教師になったら誰もがこの場所に来たいと思う。やっと念願かなった。今回の巡教は一週間ほど。帯広から始まって東へ進む。移動の距離は想像以上に長く、見渡す限り平原が続く。けど、別につまらないわけじゃない。眠くなることもない。楽しいのです・・・。

道中、開教先の和尚様との話のやりとりが楽しくてたまらない。それに、ただ愉快的話ばかりでは



北海道を訪ねて

四国西伝宗寺 多田曹溪

「ほっかいどくでっかいどく」
強い。今後のお寺のこと、妙心寺のこと等、共感することが多く、勉強になる。

そんな思いを感じつつ、ある和尚様と総代さんの牧場を訪れた。どうも、搾りたての牛乳を飲むらしい。実は私：牛乳が大嫌いで、小学生以来飲んだことがありません。けど、飲んでしまった。

北海道：雄大な大地はおおらかな人を育むのだろうか。そんな方たちに触れれば、頑なに「大嫌い」といった心を解き放つ・・・「無依」頑なな心を解き放つ・・・「無依」だ。

それは、周りの方々の支えで飲む機会を得た。まさに「縁」だなど。けど、結局、嫌いな牛乳を飲むのは私の意志で決めるしかない。これだけは、人に頼ることはできない。嫌いなものを受け入れ、乗り越えるのは本人だけだなと感じた。「たよらないのが仏さま」というのがこんなところにもあった。



禅の言葉に「一口に吸尽す西江の水」(馬祖録)とある。中国の西江の水をひと口で飲み干せという。言い換えれば、雄大な西江と一つになれということであろう。

今回、北海道巡教にあたり、皆様には本当に温かな見守りと気さくに接していただかげで、皆さまと一つになれたと感じております。「ちょっとイイ話し」というところか、私にとっては天地一杯の所得をいただいた巡教でもありました。

もう一度、皆様にお会いしたいというより、必ず、また会えると感じつつ帰山いたしました。本当にありがとうございました。御身体ご自愛くださいませ。

「ごあいさつ」
北海道教区宗務所長
室蘭市 法眼寺住職 船場一謙

教区並びに道内寺院諸大徳はじめ花園会員の皆さまにおかれましては、昨年の大地震、数日に至る全道一斉停電と大災害に遭われましたこと衷心よりお見舞いを申し上げます。『その身になつて初めて知る』ということを感じました。

日頃より菩提寺の護持、教区の行事にご理解ご尽力を賜り篤く感謝申し上げます。今年は、教区、各部においての花園会役員会・花園会員交流会・巡回職研修会・花園地方大会と多くの行事が予定されております。皆様には尚一層のご協力を得まして実り多い事業に成りますようお願い致します。

五月より令和と元号が替わり、多くの方が念いを新たにしているところがあります。わたくしたちの(へいま)あるのは、ご先祖様の苦勞や努力の積み重ね、自分自身以外のすべての(おかげさま)であることは皆様衆知のことですが、念い新たな一歩を進めるその前にいまいちど、このことわが身をふりかえっていたとき、心やすらかな一年となりますようご祈念申し上げます。

「過疎化や少子・高齢化の影響」
北海道教区宗議会議員
霧多布 正宗寺住職 松浦明恭

過疎化や少子・高齢化に伴う檀徒の減少や寺院後継者不足などの影響から、妙心寺派は昨年から行政単位である各教区の部の再編を促し始めた。

某宗教新聞は《花園会活動が盛んなことで知られる岐阜西教区(寺院数二七四カ寺、住職数一七〇人)が、現在の十一ある部を五〇六に再編する取り組みを進めている》と報じたが、私たちも決してよそ事とは言えない。

北海道教区二十四カ寺は三つの部で構成され、現時点で被兼務寺院はないものの、将来的な不安は残されているからだ。

その意味で、檀徒を引きつける花園会活動の促進と和尚の宗盟心は愈々欠かせない。寺檀共に和して、これらの今日的課題解決に挑みたいものである。

「新年号『令和』を迎えて」
北海道教区花園会 会長 長尾章郎

災害は多い年でしたが、平和な三十一年度の「平成」から、新しい年号を迎えて皆様如何お過ごしですか。

新しい天皇陛下が、令和の年も国民の幸せと国の一層の発展、そして世界の平和を切に希望しておられました。本当に戦争のない平和な年が続いて欲しいものです。

私も皇位継承一位「皇嗣」になられた秋篠宮様とは、紀子妃殿下と共に円山動物園を御案内させて頂いた縁で何度か一緒に食事をさせて頂きました。

本山妙心寺花園会が、花園法王様のご尽力で発展したと聞き、何か不思議な縁を感じました。この花園会ですが、全国的に会員数が減っていると伺っております。こんな時こそ法要以外の時にも多くの方がお寺を訪れるよう、私達が努力しなければと思っております。

私事で恐縮ですが、今マスコミで話題になっている高齢者の交通事故ですが、この前単独事故を起こしたことをキッカケに、七十九歳で車の運転を止めました。

皆様も是非とも安全運転で宜しくお祈いします

創建開山

中山 東旭和尚

勸請開山

愛媛大安寺 東文道大和尚

本尊

本師釈迦牟尼佛

開創

昭和九年八月二日

現住職

中山瑞源（道号、文靖 諱名、瑞源）

所在地

苫小牧市字高丘二七二

宗派名

臨済宗 妙心寺派（東海派）

寺院名

天目山 正法寺 一等地一級

No.5 正法寺

われら道産子
臨済宗寺院



秀麗樽前山の恵み多き苫小牧。まろやかでおいしい水と穏やかな気候。空港、フェリー港、高速道路など交通アクセスも抜群です。

正法寺は市内中央部に作られた敷地面積八十七、二ヘクタールの緑ヶ丘公園に隣接しています。市内を一望できる展望台、愛らしいカモが住む金太郎の池、たくさん運動施設。鹿やリス、キツツキやウグイスも登場し私たちを和ませてくれます。

正法寺自慢の一つが女性部の活動です。寺院内掃除、行事ごとの昼食づくりは、さすが熟練(?)女性軍の集結、正法寺にはなくてはならない大きな力となっています。近年は社会貢献活動にも力を入れ、ボトルキャップ、リングプル、古切手を集めたり、施設への拭き布を会員皆で作って寄付をしています。何より皆さんの笑顔と明るい言葉が正法寺の活力です。

坐禅会、盆・彼岸・通夜・法事などの法話で臨済禅を伝え、皆さんの日々の生活に生かしていただけるよう努めます。

「女性部会長就任の挨拶」

教区花園会女性部 会長 畠山芳枝

元号が「平成」から「令和」となり、日々慌ただしい中、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私こと、このたび教区役員改選にて、前会長、三部観音寺 佐藤チエ子さんの後を受け、教区花園会女性部会長を務めさせて頂くこととなりました。一部正法寺 畠山芳枝と申します。

もとより、未熟者にて力不足は否めませんが、私なりに誠心誠意務めさせて頂きたく所存でございます。そうは言っても現在に至るまで「私で良いのか...」「私で務まるのか...」と、自問自答を繰り返しております。この様な私ではありますが、会員の皆様には、何卒お力添えを賜りますようお願い申し上げます。また、このたび退任されました役員の皆様、長い間お疲れ様でした。大変お世話になり心より感謝申し上げます。

「花園会青壮年部部长になって」

教区花園会青壮年部 会長 阿部清光

青壮年部が北海道で組織的な活動を始めてから十年が経過しました。その間、活動を何もしていなかったわけではありません。親睦としてパークゴルフで楽しみ、その後の懇親会を行ってきました。

花園会や女性部会では、大きな大会を行い、研修を励んでいます。青壮年部はレクリエーションに飲み会。他の組織と比べちよと違った活動をしています。そもそも、青壮年部は、全道からいろいろな檀家が集まり、顔を覚えてもらう事が大切なのです。男性は、ただ仕事がらみで顔を合わせてもお互いをよく理解できませんが、お酒が入り、話し合いになると顔と名前が一致しなくても「ああ、あの時の〇〇さんね」と覚えるものです。

青壮年部は、特にこれだという目標を立てるのではなく「まずは楽しんで!まずは飲んで!仲良くなる!」ことからハジメよう!です。普段は仕事に忙しく、思うような行動が出来ませんが、本当は色々なことについても一番発揮できる世代の人たちが集まっているはずなのです。例えば、災害が発生した時などは、〇〇地区の〇〇さんはどうしたのだろうかとせ參じることが出来ると思います。その為にも親睦が大切だと思います。

安田前部長のように、なかなか出来ませんが頑張りたと思っていますので、皆様のご協力を期待しています。

「就任あいさつ」

教区寺庭婦人会 会長 旭川市 大道寺寺庭 安川和美

このたび、北海道教区寺庭婦人会の会長職を務めさせて頂きたくことになりました旭川市の大道寺寺庭安川和美です。

元号が改まりました記念の年に、身に過ぎたる大役で御座いますが、職責を果たせよう精進して参りたいと存じます。

教区役員様はじめ御住職様方のご指導を仰ぎ円滑かつ充実した会運営を目指したく存じます。

寺庭婦人会会員様におかれましては相互関係並びに理解を一層深め『寺庭婦人の姿』を模索・探求し、共に学んで参りたいと存じます。

檀信徒様との関係、信頼をより深め、いまよりもなお一層「心のよりどころの寺」にすべく、会員、肝胆相照らし知恵を出し合い一歩づつ前進致したく存じます。

何卒ご助力を賜りますようお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせて頂きま

5月18日「臨濟禅をきく」講演会

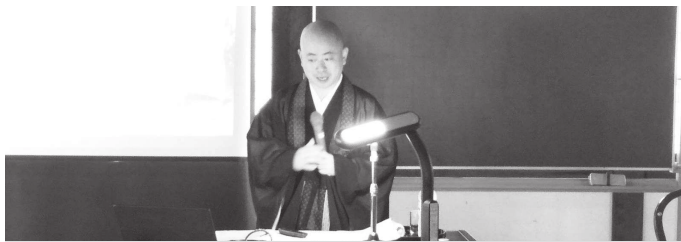
札幌禅センター主催



起龍軒老大師の導師による茶筌供養。



裏千家淡交会札幌支部によるお茶会が催されました。



東京都 龍雲寺 住職 細川晋輔師の講演
「禅語の先にあるもの」



約200枚の参加者がお話に耳を傾けました。

禅 札幌禅センター

平成30年9月1日、「瑞龍寺・北海禅道会」は、臨濟宗妙心寺派の「北海道教区大衆禅堂」として妙心寺派に公認され、臨濟禅の普及啓蒙のための「札幌禅センター」が設置されました。妙心寺派の地方大衆禅堂としては初の公認で、禅センターとしては東京、名古屋に続く三カ所目となります。



瑞龍寺 北海禅道会



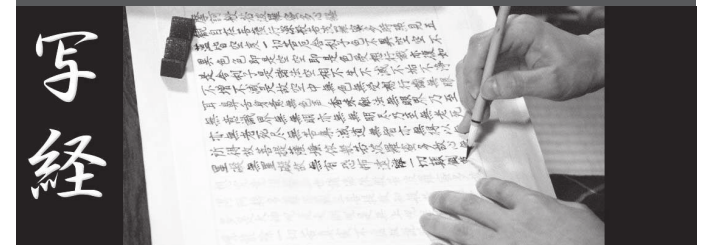
「北海禅道会」は、明治41年(1908年)、廃仏毀釈の法難の余震が未だ鎮まらぬ北海の地に、臨濟禅に拠り己中の仏を求める八名の居士と、その師聖僧・松原盤龍老師の篤志により御身を削り、人を活かすための「大衆道場」として創建され、大正4年(1915年)、その思い叶い、札幌円山のこの地に瑞龍寺が建立されました。

坐禅入門！ まずは一步 一緒に坐ってみましょう。



日程:毎週 土曜日
時間:14:00~15:30(受付時間 13:50頃まで)
場所:瑞龍寺 禅堂
会費:月額 1,500円(学生 500円)

写経会！ まずは一步 一緒に書きましょう。



日程:毎月 第2・第4日曜日
時間:13:00~15:00(受付時間 12:50頃まで)
場所:瑞龍寺 瑞雲軒
参加料:1,000円(何枚書いても費用は同じです)
写経用紙・筆・硯・墨は用意しております。
(自分専用の筆をご持参頂いても構いません)

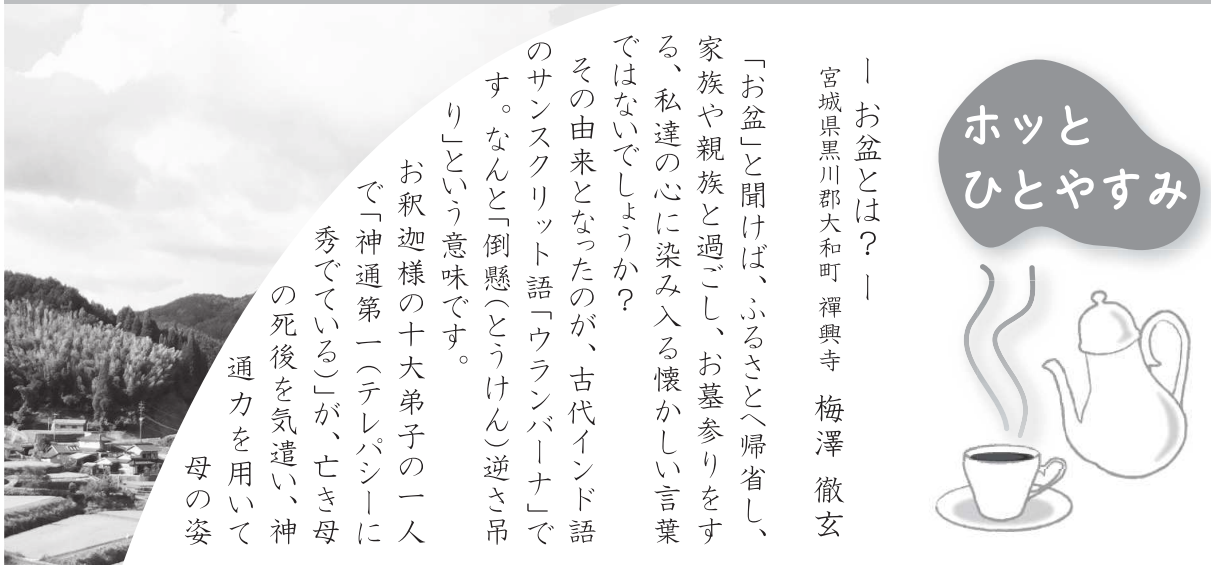


【住所】札幌市中央区南2条西21丁目1-8 瑞龍寺 札幌禅センター

【TEL】011-611-3228 【FAX】011-613-8458

【メール】info@sapporo-zen.org

- 地下鉄の場合／東西線 西18丁目駅
東西線西18丁目駅2番出口から大通を円山方面へ約8分(駅のエレベーターを利用する場合は、1番か6番出口)セブンイレブン円山裏参道店向かいの道に入る
- お車の場合／駐車場20台
法要や大規模な葬儀の場合、駐車場スペースが不足することがあります。
(近隣のパーキングをご利用下さい)(本堂の裏、瑞龍寺月極駐車場向かいにタイムパーキングがあります)



「お盆とは？」
宮城県黒川郡大和町 禪興寺 梅澤 徹玄

「お盆」と聞けば、ふるさとへ帰省し、家族や親族と過ごし、お墓参りをする、私達の心に染み入る懐かしい言葉ではないでしょうか？

その由来となったのが、古代インド語のサンスクリット語「ウランバーナ」です。なんと「倒懸(とうけん)逆さ吊り」という意味です。

お釈迦様の十大弟子の一人で「神通第一(テレパシーに秀でていた)」が、亡き母の死後を氣遣い、神通力を用いて母の姿

「宗務支所たより」
北海道教区第一部 宗務支所長
岩見沢市 明心寺住職 徳重寛道

○部内花園役員研修会
平成三十年十月十一日、札幌市瑞龍寺様を会場に行われた恒例の『秋季特別布教』に併せて、部花園会の役員総会と宿泊研修会が開かれました。
総会では役員改選が行われ、部花園会長に長尾章郎さん(瑞龍寺)と部青壮年部会長に阿部清光さん(法眼寺)、部女性部部会長に島山芳枝さん(正法寺)らが再選されました。
その後、定山溪グラウンドホテル瑞苑に場所を移し、懇親研修会を開催。三Aで大いに盛り上がり、懇親と親睦を深めました。

○大本山妙心寺奉仕団参
平成三十年十一月二十八日から三泊四日の日程で、ご本山の奉仕団参の京都と伊勢志摩を巡る旅が行われました。
総勢四〇名。天候にも恵まれ、紅葉真っ盛りの中、ご本山境内の清掃、団参調経、坐禅体験、粥座(朝食)体験などに真面目に取り組んだ後は、美しい伊勢志摩の風景を堪能しつつ、伊勢神宮参拝や先進国首脳会議(サミット)が行われた(志摩観光ホテル)でフランス料理のフルコースなど、実に贅沢な旅を満喫致しました。



「宗務支所たより」
北海道教区第二部 宗務支所長
旭川市 大道寺住職 安川天堂

四月には宮城福島教区の梅澤徹玄氏による春季布教会が二部各寺院様にて執り行われました。
六月には洪岳寺前住職の七回忌法要があり圓明寺においては二部女性部研修会が執り行われました。
二部内においては去年田中寺・円明寺の御住職交代があり今年も御住職の交代がある予定であります。

二部内での世代交代が進んでおります。若い方々のお力によってますます部内を活性化して頂きたいと思っております。
二部内の花園会及び女性部の役員改選があり新役員共々会を盛り上げて頂きたいと思っております。

二部支所長を二期八年務めさせて頂きました。が十二月より田中寺御住職様が新支所長に就任して頂くようになり、またこのことを報告致します。
会員の皆様方には未熟故に大変ご迷惑をおかけいたしましたのでは無いかと思っております。

新支所長の下、二部内がますます交流出来ますようお願い申し上げます。

「道東臨済宗花園会・少年少女研修会」
北海道教区第三部 宗務支所長
中標津町計根別 大慶寺住職 田中素裕

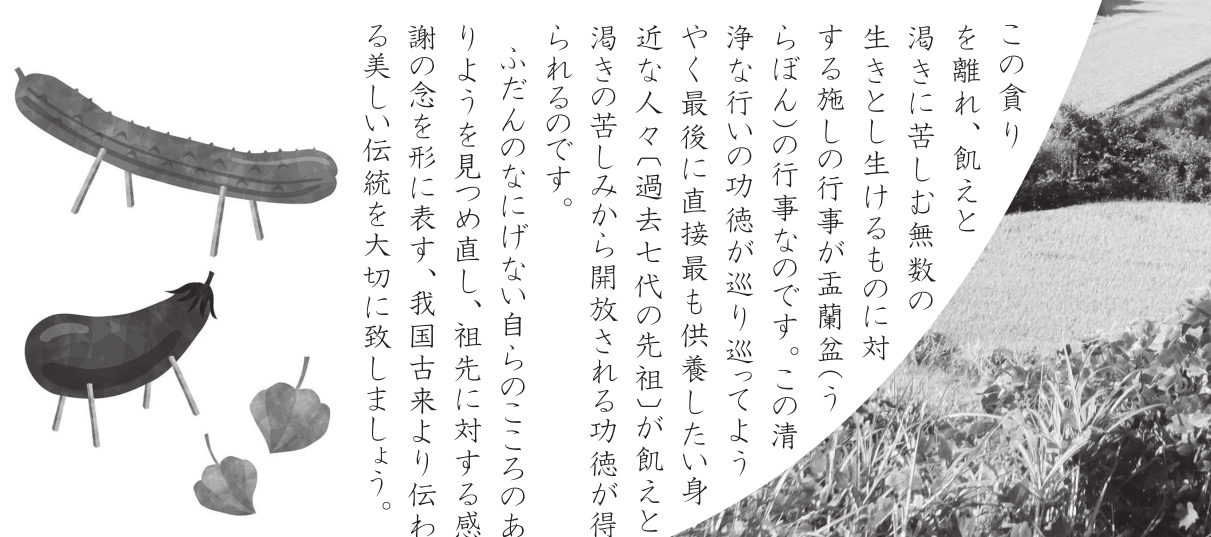
昨年度、帯広市の大乘寺で開催された【平成三十年・第二十七回・道東臨済宗花園会主催・夏休み@禅寺すくーる】。坐禅・法話・読経・写経・作務(掃除)・禅寺の作法による給仕と食事等の禅寺体験に加え、救急救命士による体験型救命指導、北海道新聞帯広印刷工場の見学、寺庭婦人による茶道体験等が行われました。

夏らしい天候にも恵まれ、休憩時間には広い駐車場の子供達が走り回って遊んだあと、本堂の縁側に坐ってアイスクリームを食べる風景はお寺ならではの。

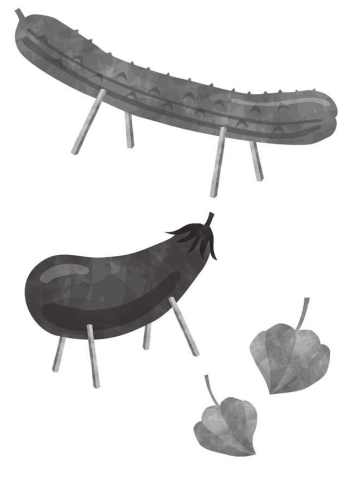
役員様方や女性部皆様の献身的なご助力のおかげさまで、参加した子供から、迎える大人、もちろん奉られている御先祖様方も一体の素晴らしい研修会になりました。

近年、非社会的な宗教、カルト、テロリスト等に「洗脳」され、あるいは自己中心論などに流されていく若者の多くは、宗教に対しての「免疫」を持たない事に起因すると考えます。他に頼ることなく、頂いた大切な命と、人生を活かすための「智慧」を、自分自身で体験し、考え、学ぶ機会であるとのご理解を頂き、子供達の参加をお勧めいただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

を探しまし
た。するとあの優しかった母が骨と皮に痩せ果て、飢えと喉の渇きにもがき苦しむ必死の形相で、餓鬼道と呼ばれる苦界に沈んでいくではありませんか。動転した目連尊者は、得意の神通力を使ってすぐさま食料や飲み物を母に届けました。しかし母が口に入れようとした途端、それは炎と化して消えてしまい、何度繰り返しても同じで母は今までも増してもがき苦しまれました。この心痛を「逆さ吊りの苦しみ」に例えたのです。
途方に暮れ、釈尊に助けを求めると、こう諭されました。お前の母はお前を慈しむ余り、その周りに飢えと愛情の渇きに苦しむものへの施しを顧みず、貪りの罪科(とが)を犯したことを贖(あがな)っているのだ。その母の身を救おうとし、その周囲のものがき苦しむ者どもを顧みないお前の行為も又貪りのこのころそのものである。貪りの罪を、貪りの行いによっては決して救うことはできないのだ、と。



この貪りを離れ、飢えと渇きに苦しむ無数の生きとし生けるものに対する施しの行事が盂蘭盆(うらぼん)の行事なのです。この清浄な行いの功德が巡り巡ってようやく最後に直接最も供養したい身近な人々(過去七代の先祖)が飢えと渇きの苦しみから開放される功德が得られるのです。
ふだんのなにげない自らのこのお前りようを見つめ直し、祖先に対する感謝の念を形に表す、我国古来より伝わる美しい伝統を大切に致しましょう。



◆ 花園会決算・ご報告 ◆

平成 30 年度教区花園会会計決算報告

【収入の部】 -は予算比減 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

項目	予算	決算	増減	備考
1. 繰越金収入	1,081,784	1,081,784	0	
前年度繰越金	1,081,784	1,081,784	0	前年度繰越金
2. 会費収入	1,247,000	1,247,000	0	
会員割当金	1,247,000	1,247,000	0	会員数×¥200 (6,235名)
3. 助成金収入	710,000	993,550	283,550	
教区推進助成金	120,000	110,000	-10,000	前年度分教区推進助成金
研修会旅費補助金	500,000	797,050	297,050	前年度の(平和復興)寺院役員研修(少年少女研)等の参加に比例
参拝推進助成金	10,000	10,000	0	
無相教会助成金	70,000	76,500	6,500	発展拡大大会・講習会等助成金
その他助成金	10,000	0	-10,000	
4. 雑収入	1,216	10	-1,206	
雑収入	1,216	10	-1,206	預金利息 他
合計	3,040,000	3,322,344	282,344	

【支出の部】

項目	予算	決算	増減	備考
1. 事業費	150,000	150,000	0	
教区花園大会	0	0	0	※H30年度予定なし
花園会役員交流会	150,000	150,000	0	教区支度金として
2. 助成費	1,720,000	1,180,000	-540,000	
花園会本部寺院役員研修会	240,000	0	-240,000	引率6万+6万×3名分
花園会本部少年少女研修会	240,000	0	-240,000	引率6万+子供3万×6名分
秋期特別布教花園研修会	300,000	300,000	0	10万×各部へ
各部少年少女研修会	50,000	50,000	0	第3部に5万
青壮年部本部研修会	240,000	180,000	-60,000	2部2名・3部1名=3名@6万
教区無相教会助成金	250,000	250,000	0	教区無相教会本部への年間活動費
花園会女性部活動助成金	100,000	100,000	0	教区花園会女性部への年間活動費
平和記念法要助成金	300,000	300,000	0	平和復興(熊本)引率(正宗寺)+4人
3. 教化費	350,000	311,094	-38,906	
花園会報	350,000	311,094	-38,906	
4. 会議費	400,000	528,860	128,860	
花園会役員会	400,000	528,860	128,860	8月(代表者)・2月(全員)
5. 事務通信費	10,000	7,611	-2,389	
通信費	5,000	5,000	0	教化主事へ払切
事務費	5,000	2,611	-2,389	
6. 雑費	10,000	0	-10,000	
諸雑費	10,000	0	-10,000	
7. 予備費	400,000	49,762	-350,238	
予備費	400,000	49,762	-350,238	管長晋山祝・交流会不足金
8. 積立金	0	0	0	
積立金	0	0	0	
合計	3,040,000	2,227,327	-812,673	

【収入】-【支出】=繰越金 1,095,017 円 財政調整基金現在高報告 600,000 円

令和元年度花園会事業計画

令和元年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

年	月	日	事業	会 所	備 考
令和元年	4	4～19	春季定期巡教	全道	1・2 部梅澤徹玄師 / 3 部多田曹溪師
	6	11～12	北海道教区花園会交流会	南幌町 P G C	P G ・スリーA・懇親会・座談会
	7	4～5	全国花園会会長会	京都 大本山 妙心寺	北海道教区花園会 会長 長尾章郎
		29～31	少年少女研修会	大慶寺	坐禅・写経・法話・地域研修
	8	29～30	北海道教区・花園会役員会	札幌	事業計画・花園大会の事案・その他
	10	3～4	北海道教区花園大会	旭川トーヨーホテル	講演・花園会本部長、古山敬光師、笑福亭松枝氏・坐禅・写経・懇親会
		9～10	無相教会発展拡大大会	札幌	御詠歌講習・講師
		28	第 3 部秋季特別布教 / 花園研修会	鶴居・観音寺	グリーンパーク鶴居
		29	第 1 部秋季特別布教 / 花園研修会	瑞龍寺	ホテル宿泊
	11	30	第 2 部秋季特別布教 / 花園研修会	美瑛・観音寺	
6		平和復興の祈り・無相教会全国大会	神戸		
	10～11	全国花園会寺院役員研修会	京都 大本山 妙心寺	新規責任役員に案内	
令和 2 年	1	16～17	全国花園会会長会	京都 大本山 妙心寺	北海道教区花園会 会長 長尾章郎
		30	全国花園会女性部会長会	京都 大本山 妙心寺	北海道教区花園会 女性部会長 畠山芳枝
	2	12	全国花園会青壮年部会長会	京都 大本山 妙心寺	北海道教区花園会 青壮年部会長 阿部清光
			北海道教区・花園会合同役員会		事業報告・計画・仮決算・予算
3	27～29	全国花園会少年少女研修会	京都 大本山 妙心寺	2 部寺院より	

♡ 参加してきました ～本山・教区の花園会活動～ ♡

「熊本の被災地に立って」

北海道教区 第一部 前野正明

あの熊本地震の被災地に自らの足で立ち、鎮魂の祈りをなしたことは、思いも寄らぬ貴重な体験でした。このような機会をくださった花園会北海道教区のと尚様、檀信徒の皆さまに「ありがとうございます」とお返しいたしたいです。

平成三十年十月三日、熊本市市民会館で開催された花園会「平和・復興のいのり」と無相教会「全国奉詠大会」に、正宗寺ご住職・松浦明恭さま引率のもと北海道教区役員四人が参加しました。地震発生から二年半を経てなお災害のツメ跡は残っています。

限られた日程で垣間見えた程度ですが、凛としたたずまいの熊本城も、足元は石垣が崩れ、補強工事で松葉杖をつけているように見えました。

大会では、被災物故者の鎮魂供養と復興を祈り、御詠歌のお唱えが広い会場の隅々に響きわたりました。各教区から参加した多くの皆さまと心がひとつになったような感慨がわいてきたものです。

日本は世界でも有数の地震国です。さまざまな報道に接する限り、いつ、どこで巨大地震が起きても不思議はない、といった状況です。禅には「把手共行」という言葉があると聞いたことがあります。まさに手を取り合うことの大切さを知った熊本行でした。

ご報告

四月、川上郡当麻町圓明寺に大橋宗俊師が住職に就任致しました。
六月、川上郡鷹栖町田中寺に船橋宣裕師が住職に就任致しました。



HOKKAIDO
Rinzai ZEN

「平和復興のいのり全国奉詠大会に参加して」

北海道教区花園会 女性部会計 本田眞智子

震源に近かった益城町の熊本空港に到着し、辺りののどかな風景に少しほっと致しました。

翌日甚大な被害を受けた熊本城を訪れ、修復工事を見学いたしながら自然の猛威に驚愕し、亡くなられた方々のご冥福と、被災された方々の安寧と復興を祈るこの大会に参加できましたことを大変有り難く感じました。

全国各教区から奉詠のため参加された皆さまの「無心の優しい御詠歌」は鎮魂供養と一日も早い復興の祈りに合せて、被災された多くの皆さまの御心に届いたものと感動しながら拝聴いたしました。

その後も想定を超える自然災害、悲惨な事故や事件、世界での紛争が続いておりませんが、「祈りとおかけさまの心」を忘れずに日々努めてまいります。

「青壮年部本部研修に参加して」

当麻町 圓明寺 射場信幸

平成三十年九月八日から九日に一泊二日の本山での青壮年部研修会に参加してきました。

一日目はまず、開会式に参加。その後、花園会本部長の古山敬光師の講演・杉本恭子氏の特別講演を拝聴した後、「お寺と青壮年部の役割」というテーマでグループディスカッションを行いました。お寺に人が来てくれるために何をしたいのかを他寺院の方々に聞くことが出来、とても有意義な時間でした。

しかし、年々、檀家のお寺離れが深刻化していると痛感する話ばかりでした。昔は、お寺の庭木の剪定等も、檀家さんたちが競うように行っていたのが、今では造園会社へ頼んでいるお寺も多いとのことでした。お寺と檀家の距離が遠く親しみが無いという印象が強く残りました。

二日目は、坐禅や清掃奉仕に参加しました。研修後には、龍泉庵の見学をさせて頂きました。このような貴重な体験をさせて頂き、研修会に参加することで他寺院の現状を知ることが出来、とても有意義な時間となりました。

臨濟宗妙心寺派 北海道教区花園大会

前回より隔年の開催となりました花園大会。今年は北海道の中心に位置する旭川市「旭川トーヨーホテル」で、大本山妙心寺より花園会本部長・古山敬光師を迎え開催されます。また「おかげさまの心」と題して、落語家・笑福亭笑枝氏による記念講演も、今回の新たな試みです。自己研鑽と笑いの心により、こころの勉強を深めて行きましょう。



写真提供：旭川トーヨーホテル



大本山妙心寺 花園会本部長
古山敬光師



落語家 笑福亭松枝氏

講演テーマに沿った落語を挟むスタイルで、普通の講演とは一味も二味も違います。

「面白い！」と充実感を得られる講演となりそうです。

1950年
大阪府貝塚市生まれ

1999年
文化庁・芸術祭
落語「立ち切れ」優秀賞

写真提供：松竹芸能株式会社

日 時 令和元年10月3日(木)
～4日(金)

会 場 旭川トーヨーホテル

総裁代理 瑞龍寺住職 起龍軒老大師

講 話 「たよらないのが仏さま無依の道人」
花園会本部長 古川敬光師

記念講演 「おかげさまの心」
落語家 笑福亭松枝氏

後編 記集

▽北海道も暖かくなり、僅かな夏ですが、みんな畑仕事や庭仕事に精を出す。冬に畑仕事は出来ないし、夏に除雪作業は無い。その季節毎にしか出来ない仕事があるし、その季節だからと言って毎日同じ仕事をするという事もありません。

▽「晴耕雨読」という言葉があります。晴れた日には畑を耕し、雨の日には本を読むという意味。まさに天地の状況に合わせて、自らの働きにしていって、古人の智慧の言葉。

▽毎日違った状況と、毎日違ったスケジュールと、毎日違った天候に合わせて、毎日違った自分の動きが出来るように心掛けましょう。

(発行人) 船場一謙

(編集者) 川邊正道

安川天堂 小畑瑞穂